

令和3年2月20日に文部科学省防災教育フォーラム「東日本大震災の教訓を未来へ」の開催をお知らせするものです。

事務連絡
令和3年1月20日

各都道府県・指定都市教育委員会学校安全主管課
各都道府県私立学校主管課
附属学校を置く各国公立大学法人担当課
構造改革特別区域法第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課
各都道府県・指定都市・中核市認定こども園主管課

御中

文部科学省総合教育政策局
男女共同参画共生社会学習・安全課

防災教育フォーラム「東日本大震災の教訓を未来へ」の開催について

文部科学省では、令和3年3月11日に東日本大震災から10年目を迎えるにあたり、岩手県、宮城県、福島県の取組を中心に、これまでの防災教育の歩みをふり返り、被災地の経験・教訓を生かした、防災教育の未来への展望を探る機会とする防災教育フォーラム「東日本大震災の教訓を未来へ」を下記のとおり開催します。

各都道府県・指定都市教育委員会におかれては、所管の学校及び域内の市区町村教育委員会に対し、各都道府県私立学校主管課におかれては、所轄の学校法人及び学校に対し、各国公立大学担当課におかれては、所管の附属学校に対し、構造改革特別区域法（平成14年法律第189号）第12条第1項の認定を受けた各地方公共団体の学校設置会社担当課におかれては、所轄の学校設置会社及び学校に対し、各都道府県・指定都市・中核市認定こども園主管課におかれては、域内の市区町村認定こども園主管課及び所轄の認定こども園に対して、周知されるようお願いいたします。

記

1 日 時：令和3年2月20日（土）13：00～16：00

2 開催方法：オンラインセミナー（zoom）

※詳細については、別添のとおりです。

また、文部科学省ホームページ（注）に掲載しています。

注：https://www.mext.go.jp/b_menu/gyouji/detail/mext_00028.html

【問合せ先】

文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課
安全教育推進室 防災教育係

電話：03-5253-4111（内線2670）03-6734-2670（直通）

FAX：03-6734-3620 e-mail:anzen@mext.go.jp

別添

文部科学省 防災教育フォーラム

東日本大震災の 教訓を未来へ

参加
無料

日時

2/20^土 13:00~16:00

開催方法

オンラインセミナー (zoomウェビナー)

申込方法

2021年1月18日(月)13時より受付開始

下記のアドレス宛に必要事項をご記入の上お申し込みください。
申込締切後、お申込みいただいたメールアドレスにセミナー参加用URL
をお送りいたします。

✉ bousai2020@mdri.co.jp

- 1 氏名
- 2 所属
- 3 現在お住まいの都道府県名

をご記入の上、上記アドレス宛にお送りください。

※受付完了のメールをお送りいたします。

※メールが届いていない場合は、申込が完了しておりませんので、ご注意ください。

申込締切：2021年2月12日(金)

主催：  文部科学省





プログラム

- 13:00** 開会 文部科学大臣ビデオメッセージ
- 13:10** 基調講演「東日本大震災の経験・教訓を整理し未来社会へ」
講師 今村 文彦 氏 (東北大学災害科学国際研究所所長 教授)
- 14:00** 釜石市 震災伝承と防災教育施設「いのちをつなぐ未来館」からリモート生中継
紹介者 菊池 のどか 氏・川崎 杏樹 氏 (いのちをつなぐ未来館職員)
- 14:20** 休憩
- 14:30** パネルディスカッション「震災からの10年、そして未来へ」
パネリスト
 菊池 のどか 氏 (いのちをつなぐ未来館職員) 川崎 杏樹 氏 (いのちをつなぐ未来館職員)
 平塚 真一郎 氏 (宮城県名取市立みどり台中学校校長) 青田 伸一 氏 (福島県教育庁 義務教育課 指導主事)
助言者
 今村 文彦 氏 (東北大学災害科学国際研究所所長 教授)
- 16:00** 閉会

登壇者プロフィール



今村 文彦

東北大学災害科学国際研究所所長 教授

東北大学大学院博士後期課程修了。同大学院工学研究科附属災害制御研究センター助教授、同教授を経て、2014年より現職。専門は津波工学・自然災害科学で、津波被害の軽減を目指し、津波予警報システムの開発や太平洋での防災対策等の研究を数多く実施。津波数値技術移転国際プロジェクトTIMEの代表。中央防災会議専門調査会委員、東日本大震災復興構想会議検討部会等。一般財団法人3.11推進機構代表理事。

主な受賞

- ・NHK放送文化賞(平成26年)
- ・文部科学大臣表彰(科学技術振興部門 平成27年)
- ・防災功労者内閣総理大臣表彰(平成28年)
- ・濱口梧陵国際賞受賞(令和2年)



平塚 真一郎

名取市立みどり台中学校 校長

1966年宮城県石巻市生まれ。1991年より中学校教諭(社会)として、宮城県内の中学校に勤務。震災時は石巻中学校、その後大須中学校(石巻市)で防災主任を担当、青葉中学校(石巻市)教頭を経て、2019年4月より現職。震災で当時大川小学校6年の長女が犠牲に。学校勤務をしながら行方不明の娘を捜索。震災から5ヶ月後に発見される。現在、現職教員であり学校事故遺族という両方の立場から、学校安全について講話等を行っている。

宮城県学校防災体制在り方検討会議委員 防災士
 学校安全コーディネーター
 セーフティプロモーションスクール(SPS)推進員



青田 伸一

福島県教育庁
 義務教育課 指導主事

福島県の沿岸地域にある相馬市出身。初等教育資料や中等教育資料で、福島県の防災教育について執筆をしている。福島県は東日本大震災当時、大地震と津波の自然災害、そして事故災害である原発事故に見舞われ、その影響は今なお続いている。本フォーラムでは、東日本大震災後の福島県における防災教育と放射線教育への取組や実践協力校での防災教育の実践内容についてお伝えしたい。



菊池 のどか

株式会社かまいしDMC
 いのちをつなぐ未来館職員

1995年生まれ。岩手県釜石市橋野町出身。釜石市立橋野小学校、釜石市立釜石東中学校、岩手県立釜石高等学校普通科、岩手県立大学総合政策学部卒。釜石東中学校3年生時に東日本大震災が発災し、小学生と共に避難した。いのちをつなぐ未来館職員として、ガイドや語り部を行いながら防災学習の普及を目指している。



川崎 杏樹

株式会社かまいしDMC
 いのちをつなぐ未来館職員

1996年生まれ。震災当時中学2年生。釜石市立鶴住居小学校、釜石市立釜石東中学校、岩手県立釜石高等学校出身。震災時は釜石東中学校体育館で地震を体験、その後避難し助かる。高校卒業後は山梨県にある、都留文科大学に入学。卒業後釜石にUターン。今年度より、(株)かまいしDMC入社、いのちをつなぐ未来館勤務。館内ガイドや、震災当時の話、震災前に取り組んできた防災教育の話などを来館者に伝えている。